

教会新聞

SDA Ishikawa Church News

2020年

3月号

第四号

発行者：SDA石川教会、松下晃大

『卒業シーズン』ぼくしだより ~pastor's message~

早いものでもう3月です。3月は年度の終わりであり、卒業シーズンでもあります。ただ、今年の3月は新型コロナウイルスの影響でいろいろ大変になりそうです(^_^;) みなさんはいかがお過ごしでしょうか。どうぞお体に気をつけてお過ごしください。

さて、数年前までピチピチの学生だった私にとって、やはり3月という「卒業」のイメージがあるものです。去年はハワイにいたせいで、3月は卒業も何も無かったのですが、今年は保育園の卒園式に、三育小・中学校の卒業式もあります。私はコロナウイルスに負けずに元気に卒園式も謝恩会も出席するつもりです。子どもたちの学びが一段落し、次に進むための大切な式に参加できることを嬉しく思います。



と、同時にせっかくの卒業シーズンですので、自分の卒業を振り返ってみます。特に記憶に強く残っているのは高校・大学の卒業式です。高校の卒業では長年寮生活で寝食を共にした仲間との別れということもあり、涙ちょちょ切れの卒業式となりました。支え合い成長し合うことができた仲間感謝をしましたね。

大学で聖書の学びを終えて神学科を卒業するときには、学友への感謝だけでなく、家族や先生方、また、神様への感謝の思いも抱くことができました。20代前半にしてやっと周りの方々へ感謝の気持ちを持つことができたわけです。そのように周りのことに気が付きながら成長していくのですね。

ただ、振り返ってみると、家族の支えや神様の導きは、感謝の思いを持った神学科のときだけでなく、産まれる前からずっとあったはず。あまり感謝の思いを持たずに卒業した幼稚園・小学校・中学校の時も、たくさんの方の支えがあったはず。そしてそれらすべて導いてくれたのは神様であったわけです。

「わがたましいよ、主をほめよ。そのすべてのめぐみを心にとめよ」詩篇103：2。この3月は今までとは違い、コロナウイルスで大変になるかもしれませんが、この卒業の機会を通して、神様の導き、支えを改めて思い、そのすべての恵みを心に留めて感謝したいなと思います。



☆今月の聖句☆

「そればかりでなく、苦難をも誇りとしていきます。苦難が忍耐を生み、忍耐が品格を、品格が希望を生むことを知っているからです。」

ローマ5：3,4

♪今月の賛美歌♪

うつり行く時の間も 悩みに勝つ力
父より受けしわれは 心に恐れなし
愛に満てるみ神は 恵みを日々与え
悩み苦しむ時も 憩いと安きたもう

希望の賛美歌378番